****
開講科目名：会計学基本研究　（4単位）
開設年次：1年 2年 3年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：荒木　和夫
****

≪授業の概要≫
本講義は、会計学の基礎理論を体系的に解明することを目的とする。ここで対象とする会計とは、情報の利用者が事情に通じた上での判断や意思決定を行うことができるように、経済的情報を識別し、測定し、伝達するプロセスをいう。会計制度は社会システムの一つであり、他の社会システムの総体である環境と互いに影響し合うものである。それを踏まえた上で、この講義では、主として財務会計の範囲について、できるだけ論理的かつ網羅的に研究する。　本講義は主として税理士志望者を対象とするので、学部において簿記・会計を履修していることを前提とはしないが、受講しようとする者は少なくとも日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい。
【講義計画】
１．会計学の研究領域、会計の制度的基礎
２．社会システムとしての会計とその環境、会計の本質・目的・機能
３．会計公準、財務会計の概念フレームワーク、会計基準
４．会計の計算構造、損益計算の構造
５．会計の計算モデルの類型
６．利益測定の基礎概念
７．収益の計上基準
８．資産会計（１）
９．資産会計（２）
１０．資産会計（３）
１１．資産会計（４）
１２．負債会計（１）
１３．負債会計（２）
１４．純資産会計（１）
１５．純資産会計（２）
１６．税効果会計
１７．および
１８．金融商品会計
１９．リース会計
２０．減損会計
２１．退職給付会計
２２．資産除去債務会計
２３．外貨換算会計
２４．キャッシュ・フロー計算書
２５．および
２６．企業結合・事業分離会計
２７．連結会計
２８．わが国の監査制度
２９．財務情報の開示
３０．会計基準の国際化
【評価方法】
概ね出席５０％、学年末レポート５０％

≪テキスト≫
中央経済社編『新版　会計法規集（第6版）』中央経済社、2013年。
このほか、レジュメを配布する。

≪参考書≫

桜井久勝『財務会計講義　第14版』中央経済社、2013年
広瀬義州著『財務会計（第11版）』中央経済社、2012年。
田中　弘著『新財務諸表論（第4版）』税務経理協会、2012年。